

漢方の待合室

No.25
2009 JANUARY

ノロウイルス感染

- ◆**症 状**：経口感染して腸内で増殖し、「嘔吐、下痢、腹痛、吐き気」などの症状を引き起こします。子供やお年寄りでは重症化する場合があります。
- ◆**発生の時期**：1年を通して発生しますが、11月から発生件数が増加し始め1～2月にピークを迎えます。
- ◆**原因食品**：生食される貝が原因になることは知られていますが、原因食品を特定できない事例が過半数を占めるのが現状です。
- ◆**感 染 力**：ノロウイルスに感染した人の糞便や吐物もウイルスに汚染されています。その感染力は強く、12日以上前に汚染されたカーペットから感染が広がった例もあります。
- ◆**防 衛 方 法**：うがい、手洗いになります。調理器具は、煮沸または次亜塩素酸ナトリウム（塩素濃度200ppm）に浸してウイルスを失活させます。ドアノブ・カーテン・日用品にもウイルスが付着する事がありますので注意が必要です。また、次亜塩素酸ナトリウムは漂白作用と金属腐食性を持ちますので、使用の際にはご注意ください。
- ◆**治 療 方 法**：現在、ノロウイルスに効果のある抗ウイルス薬はないので対症療法が行われます。
- ◆**漢 方 治 療**：ノロウイルスが引き起こす感染性胃腸炎の症状には、胃腸カゼに使われる「五苓散」や「藿香正気散」が対応できる漢方処方と考えられます。

今日の漢方処方 五苓散《金匱要略》

口渇、尿利減少し、嘔吐、むくみ、頭痛などのいずれかの症状がある場合に用い、急性胃腸炎、水瀉性下痢、頭痛などに応用します。

五苓散の構成生薬

フク	リョウ	タク	シャ
茯苓		沢	瀉
チヨ	レイ	ケイ	ヒ
猪	苓	桂	皮
ビヤク	ジュツ		
白	朮		

● 猪 苓 ●

サルノコシカケ科チヨレイマイタケの菌核を乾燥したものです。主な産地は中国ですが、日本の産地としては長野県、北海道などがあげられます。味は甘、性は平。帰経は腎・膀胱経になります。主成分は、ergosterol、



チヨレイマイタケ

非晶形多糖類などです。薬理作用として利尿作用、精神安定作用、抗腫瘍作用などが認められています。猪苓は五淋散、茯苓飲、参苓白朮散、五苓散、猪苓湯などの漢方処方に配合されています。

書 籍 紹 介

『医学生のための漢方医学』【基礎編】



著 者 安井廣迪
出 版 社 東洋学術出版社
発 行 年 月 2008年8月
価 格 4,200円(税別)

本書は、安井廣迪先生が20年余りにわたって主宰されている医学生向け漢方セミナーで使われてきたテキストを出版したものです。漢方医学の現況及び歴史の解説に始まり、基本概念・診断・薬物・処方・治療までの基礎的な内容をしっかりと学べる構成になっています。また学習に役立つ関連コラムを随所に散りばめ、巻末には「生薬一覧」「処方一覧」「医事年表」が掲載されています。